

平和へのメッセージfrom知覧  
スピーチコンテスト広報活動及び事務局運営業務委託仕様書

**1. 業務委託名**

平和へのメッセージfrom知覧スピーチコンテスト広報活動及び事務局運営業務委託

**2. 委託契約期間**

令和8年4月1日～令和9年3月31日

**3. スピーチコンテストの概要**

南九州市では「平和を語り継ぐ都市」宣言を行い、平和情報の発信を目的として「あした・いのち・かがやけ」をテーマに、平和へのメッセージfrom知覧スピーチコンテストを開催し、平和へのメッセージを送り続けており、令和8年度は第37回大会となる。

全国から作品を募集し、中学生の部、高校生の部、一般の部の3部門と南九州市内小学生を対象にした作文コンテストと併せて例年約3,000通の応募作品があり、その中から入賞作品を選定し、8月15日に本市で開催されるスピーチ本選大会にて発表している。

大会終了後は入賞者の原稿をまとめた作品集を制作する。

**4. 委託業務内容**

本業務は、スピーチコンテスト開催（8月15日・終戦の日）に係る作品募集告知、マスコミ等への広報活動、開催告知、記念アトラクションの講演者等の手配、本選当日のインターネットライブ配信・会場設営等の業務及び作品募集案内発送、受付集計、審査員への通知連絡、報酬支払い、入賞作品選定に係る審査員への通知連絡、審査業務の準備・補助、大会出場者への通知連絡、作品集編集作業等、広報等及び南九州市知覧特攻平和会館（以下、「事務局」という。）が行う運営業務の一部について委託するものである。

[業務内容]

- ①大会会場舞台設営費
- ②上記資材運搬費
- ③南日本新聞掲載
- ④上記紙面広告デザイン制作
- ⑤WEB 広告掲出
- ⑥記念アトラクション（出演料・交通宿泊費等必要経費含む）
- ⑦司会者手配（旅費・謝礼等必要経費含む）
- ⑧手話通訳手配（旅費・謝礼等必要経費含む）
- ⑨インターネットライブ配信費
- ⑩作品募集案内発送、受付集計
- ⑪1次2次審査員通知連絡、審査業務の補足事務、報酬支払い
- ⑫大会出場者通知連絡、出場者旅費支払、副賞賞金の準備
- ⑬作品集編集、発送
- ⑭各種印刷物、入賞（副賞）手配発送
- ⑮プロポーザル審査会での提案による広報
- ⑯運営管理費

**5. 事務局運営業務スケジュール**

・作品募集期間： 4月1日から5月22日（予定） ・スピーチコンテスト本選開催日： 8月15日

時期	業務内容	備考
4月	1日 ●事務局運営業務委託契約締結。	
	上旬 ●スピーチコンテスト審査員依頼通知文発送。	審査員 36 名のうち、学校以外の分 16 名
	中旬 ●応募作品に貼付する審査票の印刷	応募作品 約 3,000 通
	下旬 ●審査員から収集する書類の確認、不備の連絡	審査員 36 名分
	下旬 ●無料招待券の印刷発注、参加賞クリアファイルの印刷発注	無料招待券 3,500 枚、クリアファイル 4,000 枚
5月	中旬 ●1次審査員へ審査要領の送付	審査員 36 名分
	下旬 ●スピコン作品応募締め切り(5/22)、整理集計作業	応募作品約 3,000 通
6月	上旬 ●1次審査実施 6月上旬の3日間 17:30～19:30 知覧文化会館 (審査員の出欠確認、審査集計事務補助)	※人数は実績精算
	中旬 ●1次通過者への通知(2次審査用の音声データ提出依頼等)	中学 10 名、高校 10 名、一般 4 名
	〃 ●2次審査準備(音声データの受領・ミキシング作業)	音声データ 24 名分
	下旬 ●2次審査票の印刷、審査員への2次審査資料等送付 (作品原稿写・音声データCD・事務連絡)	審査員 36 名分×原稿 24 作品
	〃 ●応募者へ参加お礼状・参加賞(クリアファイル・無料招待券)発送	約 3,000 通のうち学校応募はまとめて送付
7月	上旬 ●2次審査実施(7月上旬 音声CDによる個別審査)	
	〃 ●1次2次審査員報酬支払い事務(各審査委員への口座振込)	予算 700,000 円 ※実績精算
	〃 ●2次審査結果の本人通知	24 名分
	中旬 ●2次審査通過者に本選出場の連絡(ホテル・交通手段等の確認、旅費振込先口座確認)	中学 4 名 高校 4 名 一般 1 名
	下旬 ●本選大会プログラム印刷発注	1,000 部
	〃 ●出場者へ資料発送(通知文、プログラム、タイムスケジュール・会場案内、注意事項)	10 名
	〃 ●本選審査員へプログラム発送(通知文、プログラム、審査要領、出場者名簿、作品原稿写、2次審査結果表、応募状況、審査票)	本審査員4名 (教育長は除く)
8月	〃 ●案内状発送(学校、1・2 次審査員)	約 100 通 (議会・報道機関は除く)
	14日 ●本選大会のリハーサル	舞台監督1名
	15日 ●出場者副賞賞金の準備 ●表彰式当補助	舞台監督1名 2名
	下旬 ●出場者・入賞者・学校賞受賞校への賞状楯の送付	小学校の部 8 中学校の部 10 高校の部 10 一般の部 4 学校賞4校以内
	〃 ●出場者旅費(費用弁償)の支払い事務(口座振込) ●本審査員報酬(旅費含む)の支払い事務	出場者旅費予算(1,793,820 円) 本審査員報酬予算(135,460 円) ※市の旅費計算に基づく実績精算
9月	●作品集印刷製本作業	原稿 32 名分
10	●作品集校正・納品	500 部 A5 判 約 130P(顔写真あり)

時期	業務内容		備考
月			
11月	●作品集を関係者へ発送		関係者 160 名
12月	下旬	●次年度スピコンのポスター・チラシデザイン案の提案	3パターン提案
1月	中旬	●作品募集案内を関係機関、学校に発送(1回目、ポスター等なし)	2,000 通
月	下旬	●スピコン発送用封筒印刷	角2封筒 2,000 枚
2月	下旬	●スピコンのポスター・チラシ印刷	ポスター2,000 枚、チラシ 12,000 枚
3月	下旬	●スピーチ応募要項、作品募集案内を関係機関、学校に発送(2回目、ポスター・チラシあり)	2,000 通

※ 上記日時は現時点での予定であり、変更の場合もあります。

## 6. 見積における注意事項

別紙の「業務内容詳細」及び「積算内訳書」を参考に積算すること。

審査員の報酬、副賞(賞金、表彰楯)の数量については実績による支払いとし、金額・数量確定後に変更契約で調整する。出場者の旅費については、市の旅費計算に基づく金額とし、実績に応じて変更契約で調整する。

## 7. 契約の種類及び支払い方法

総価契約。業務終了確認後、受託者の請求により支払う。

※ 業務委託料のうち、審査員報酬、出場者旅費については、委託者に対し書面により請求するものとし、委託者は書面を受理したときは、その日から30日以内に業務委託料の一部として、先に支払うものとする。(計3回)

## 8. その他

- (1) 委託業務を行うにあたっては、事務局と十分協議して進めること。
- (2) 請負者は、市の主催事業としての信用を失墜しないよう業務にあたること。
- (3) 請負者は、プライバシーポリシーを公表のうえ、個人情報の安全管理措置が図られていること。
- (4) 請負者は、本業務の実施にあたり、故意又は過失により発注者の管理・所有する財産に損害を与えた場合には、請負者の責任においてこれを原状のとおりに回復すること。
- (5) 請負者は、本業務の実施にあたり知り得た一切の情報、その他の権利を第三者に漏洩又は譲渡してはならない。
- (6) 運営業務で使用する文書や様式は、事務局で作成したものを請負者に提供する。提供後、改変・改訂の必要が生じた場合は速やかに事務局に報告し、指示をうけること。
- (7) その他業務上必要な事項で仕様書に定めのない事項については、速やかに事務局に報告し指示を受けること。
- (8) 業務完了後、実績報告書を提出すること。